

支部だより

平林邦昭医師を迎えて

「平和・戦争・いのち」を考える

泉ヶ丘西支部

「すべての人々のいのちと健康を守るといふ医師の社会的責務および良心から、健康にとって最悪の敵である核戦争に反対し、核兵器廃絶の実現をめざして医師の声を結集する。さら



小さな小さな墓標

に、被爆者医療に関ってきた医師として、再び被爆者を生み出さないよう人々に広く訴えていく」という理念の「核戦争に反対する医師の会」(反核医師の会)やIPPNW(核戦争防止国際医師会議)で活動されている耳原総合病院の平林邦



「核兵器廃絶＝9条を守る活動！」

とも家で「子ども夏休み映画会」 みんなで大声で歌ったよ

東西支部

支部では、もっと若い人たちにも友の家を利用してほしいと話し合い、8月の映画会を子どもたちが楽しめるようにしようと決めました。

8月8日酷暑のこの日、久しぶりに子どもたちの声が『大仙ざりよう』に響きました。
(事務局)



今回は訪問時間も短く訪問は6件でしたが、次回にはもう少し時間を取った訪問計画を立てたいと思います。
(網天満広)

は、宮殿の記帳ノートに日本語で「9条守ろう」と書いてきたそうです。それは、「戦争を被害と加害の両面から見つめる。そして、9条を見つめる」「若い人たちに『9条』『平和』をいかに伝えるか」という思いを強く感じた。(事務局)

お元気ですか訪問

来てくれて嬉しい!!

和泉支部



「お元気ですか訪問」は9月14日、定例の支部世話人会議をいつもより早い目に終り、支部世話人7人と事務局の8人で行ないました。

訪問先は和泉市の北部で、比較的鳳クニックに近い北信太府宮住宅です。会員の高齢者宅を2組に分かれて訪問しました。



長尾 加代

私の戦争体験をいつも読んでます。堺の空襲は、今回の手記を読んだら、兄から聞いていた話と一緒に本当に悲惨なものです。二度とあってはならないものです。

堺大空襲

西区上

田中 美智子(77歳)

若い方々に
和泉市
竹中 静子(77歳)
戦争体験の記事、若い方々が特に多く読んでくれるといいですね。

季節を感じて

北区新金岡町

島村 栄桜(14歳)

立夏を過ぎて蝉の鳴き声のボリュームが小さくなってきました。今年も猛暑が続きますが、季節は確実に移ろっているのを感じる今日この頃です。



池田 一郎

平和を考える

南区茶山台

久松 正昭(70歳)

8月は特に平和を考える月。「とも」にも核兵器廃絶、憲法9条守れ!の記事。私は幸いにも戦争体験はありませんが「私の戦争体験」を毎回読んで平和のありがたさと憲法9条を守る大切さを感じています。



柿本 初野

改めて知る

大阪市阿倍野区

坂野 幸江(66歳)

この夏は、戦争に関するTVをほとんど録画して見えています。今まで知っていた気がしていたのですが、改めて知ることがどんなに大切か、改めて感じています。

喫煙禁止

高石市

伊庭 いづ子(71歳)

喫煙禁止のとりくみを見て、とても良い事だと感じました。私自身10年位喫煙しておりましたが、孫が誕生したその日から、自分の為、孫の為と心に決め、止めることができました。その孫も15歳です。なにかきっかけがあれば、止めることができるはず。